

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 京谷幸一 (土居康成)	内線	4389 (4399)
-----	-------	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約5億円 (内用地補償費約4.2億円)
		特定交通安全施設等 整備事業 (主)川西篠山線	川辺郡猪名川町島		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
川辺郡猪名川町島				平成15年度	平成17年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・交通量の多い当該道路に自転車歩行者道を整備し、歩車の分離を図ることにより、交通安全対策を推進する。			自転車歩行者道整備 L = 350m W = 3.0 (3.5)m		
評価視点					
(1)必要性 快適性・ゆとり その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車 4,705台/日、歩行者399人/日、自転車 38台/日) ・学童、園児の交通量(318人/日)が多い。 ・過去5年間に自転車、歩行者の交通事故件数(1件)。 ・死傷事故率(29人/億台km) ・沿道には人家が連担しており、大島小学校、杉生郵便局、大島であい公園もあり、通学や施設利用等の多様な通行状況である。 ・大島小学校、六瀬中学校の通学路に指定されている。 ・住民参加による交通安全総点検実施地区内の事業。 ・連続性の確保(前後の整備状況 起終点とも整備済み)。 ・幅広歩道の整備(3.5m)。 ・地元から事業化要望あり。 				
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車及び歩行者の安全な通行が確保され、整備効果が期待できる。 ・円滑な用地取得に向けて、地元協力体制等事業執行環境が整っている。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の確保、透水性舗装の採用により、道路交通環境の改善が図れる。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該箇所は人家連担地区で、沿道には大島小学校を始め公共施設があり、小学校や中学校の通学路にもなっており、多様な通行状況である。自動車交通量が多く、事故の発生が懸念されるため、早急に自転車歩行者道の連続性を確保する必要がある。 				